

「学びに向かう力」

秋の深まりを感じられる時期。子どもたちは、様々な体験活動を通じて、多くを学んでいます。

各学年によって、学習内容やねらいは異なるものの、共通していることの一つに、興味や関心を高め、学びに向かう力を高めるということがあります。実際に見たり、話を聞いたりすることにより自分の中から湧き出る「すごい！初めて見た！（聞いた！）」という感動は、「もっと知りたい！（やってみたい！）」という内発的な意欲となります。また、その感動を伝え合ったり共有したりできる仲間とともに学ぶことも、また、学ぶ力につながります。

このような経験は、将来に渡って学び続ける力の基盤として、子どもの中に残るに違いありません。

例えば、5年生のフローティングスクール。草津市立常盤小学校1クラス約35名の児童とともに乗船し、同じ班で食事をしたり学習をしたりした2日間は、子どもたちにとってかけがえのない経験になったことと思います。常盤小学校の担任の先生が、「大宝小学校の皆さん、常盤小学校の人にいっぱい話しかけてくれてありがとう。積極的に話しかけてくれているおかげで、常盤小のみんなも楽しく過ごしています。」と1日目の夜、子どもたちに話してくださいました。1グループ7,8人のうち、大宝小は5,6人、常盤小は1,2人という編制だったので、常盤小の児童には不安や心配があったそうです。でも、乗船してしばらくすると、たくさんの子が担任の先生に「めっちゃ楽しい！」と笑顔で伝えたそうです。大宝小の子どもたちが相手の気持ちになって行動したのだと思い嬉しい気持ちになりました。イチから人間関係を築くときに大切なことや難しさを学んだのではないのでしょうか。そんな新しい友だちと一緒に、琵琶湖や島など滋賀県の自然を眺めた時間も、二度とない経験の一つだと思います。

委員会活動とボランティアの頑張り

下は、環境委員会の児童がクイズの問題を掲示したり、クリスマスツリーの絵に折り紙の飾りを募集したりしている外掲示板の写真です。「みんなに注目してもらうためには、みんなに参加してもらう掲示物にしよう」というアイデアをもとに、その内容を企画したそうです。子どもたちの発意や発想を生かした取組です。

また、環境委員会では、花の苗植えを委員会メンバーだけでなく、1年生にボランティアを募集して一緒に活動する企画を実施し、たくさんの1年生が参加していました。

委員会活動で、よりよい学校づくりのための様々な工夫やアイデアが見られて嬉しいです。みんなで創っている学校だと改めて感じています。



◆11月22日の学習参観日には、たくさんの保護者様に学びの様子を参観いただき、ありがとうございました。また、その後行われた、PTA 厚生部によって企画いただいた清掃ボランティアにも多数の参加をいただきました。